

◎ 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

授業科目等の概要

衛生専門課程 美容科 令和5年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			教養	美容師として働くために必要な知識を学ぶ(手話・デッサン・写真・フラワーアレンジメント等)	1年次	30	1	○	△	△	○			◎	◎	
○			社会福祉	高齢の方々や障害をもつ人の生活上の困難を理解し、美容という仕事を通じ「誰もが自分らしき生きること」に貢献できるような様々な知識を実践を通して学びます	1年次	30	1	○	△		○					◎
○			関係法規・制度	社会における法の役割、衛生法規、衛生行政、美容師法など、美容業を行う際に関係ある法律を学びます	2年次	30	1	○			○					◎
○			衛生管理	公衆衛生、環境衛生について学び、感染症、消毒の目的、方法を知り、サロンにおいての衛生面に必要な知識を学んでいきます	1・2年次	90	3	○			○					◎
○			保健	人体のつくりや皮膚の構造を学び、健やかに保つ為の方法、疾患も美容と関連させて学びます	1・2年次	90	3	○			○				◎	◎
○			化粧品化学	美容の業務はもとより、日頃の生活経験と結び付けながら、電気機器の仕組みや化粧品についての様々な必要な知識を学びます	1・2年次	60	2	○		△	○					◎
○			文化論	日本の美容の歴史及び日本と西洋の髪型・服装・メイクなどトータルの歴史を学び、又礼装及び造形原理色彩の知識を学びます	1・2年次	60	2	○			○					◎
○			美容技術理論	・美容の器具の名称、取扱い方 ・技術Ⅰの注意点その他目的や種類特徴などについて ・美容全般(エステ・ネイル・日本髪等)理論技術を学びます	1・2年次	150	5	○			○					◎
○			運営管理	美容師としてスタートするのに必要な知識、働いていく上での知識、自分で店を持つ為の知識まで、接客・経営・管理に分けて学んでいきます	2年次	30	1	○			○					◎
○			美容実習	髪の毛の扱い方、道具の使用法、基礎的技術を学び、主に国家試験課題へ向け土台づくりをしていきます	1・2年次	900	30	△	△	○	○					◎

授業科目等の概要

衛生専門課程 美容科 令和5年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			美容総合技術	美容実習で学んだことをさらに応用し、様々な編み方、特殊な巻き方を学んだり、着付け・ネイルも学びます	1・2年次	360	12	△	△	○	○			◎	◎	○
○			エステティック技術	フェイシャルトリートメント技術の習得(クレンジング・ディープクレンジング・マッサージ・パック・仕上げ)と必要な知識(人体・皮膚の構造・衛生・カウンセリング等)	1年次	60	2	△	△	○	○			◎		
○			メイクアップ	メイクの用具、使用法から学び、一通りフルメイクアップができるように取り組み、検定取得も目指します 基礎的な知識を学びます	1年次	60	2	△	△	○	○			◎		
○			接客・接客マナー	接客に必要な心構えを理解し、言葉遣い(敬語)や、ご案内・誘導・電話の対応などをロールプレイングを交えながら学習する	1・2年次	60	2	○	△		○			◎		
合計				科目	2010		単位時間 ( 67 単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
<b>【履修方法】</b> ●30時間の授業をもって1単位とする。 コース科目については 30時間の授業をもって1単位とする。 各科目授業内テストの100点満点で60点以上を合格とし、出席状況が80%以上の出席が認められることをその科目の履修と見なす。 <b>【進級・卒業要件】</b> ●所定の授業科目の履修を修了した者に、年度末に進級・卒業判定会議を実施し、学生の成績評価、単位取得状況に基づき判定する。	1 学年の学期区分	3期
	1 学期の授業期間	第一学期 18 週 第二学期 22 週 第三学期 13 週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。
- 担当教員が当該授業科目に関して実務経験がある場合◎を付す。(省令で定める基準授業時数160時間)

◎ 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

授業科目等の概要

衛生専門課程 美容科（理容修得者課程）令和5年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			教養	美容師として働くために必要な知識を学ぶ(手話・デッサン・写真・フラワーアレンジメント等)	1年次	30	1	○	△	△	○			◎	◎	
○			美容技術理論	・美容の器具の名称、取扱い方 ・技術Ⅰの注意点その他目的や種類特徴などについて・美容全般(エステ・ネイル・日本髪等)理論技術を学びます	1年次	120	4	○			○			◎		
○			美容実習	髪の毛の扱い方、道具の使用法、基礎的技術を学び、主に国家試験課題へ向け土台づくりをしていきます	1年次	690	23	△	△	○	○			◎		
○			美容総合技術	美容実習で学んだことをさらに応用し、様々な編み方、特殊な巻き方を学んだり、着付け・ネイルも学びます	1年次	120	4	△	△	○	○			◎	◎	○
	○		エステティック技術	フェイシャルトリートメント技術の習得(クレンジング・ディープクレンジング・マッサージ・パック・仕上げ)と必要な知識(人体・皮膚の構造・衛生・カウンセリング等)	1年次	60	2	△	△	○	○			◎		
	○		メイクアップ	メイクの用具、使用法から学び、一通りフルメイクアップができるように取り組み、検定取得も目指します 基礎的な知識を学びます												
合計			科目		1020		単位時間 ( 34 単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
<b>【履修方法】</b> ●30時間の授業をもって1単位とする。 コース科目については 30時間の授業をもって1単位とする。 各科目授業内テストの100点満点で60点以上を合格とし、出席状況が80%以上の出席が認められることをその科目の履修と見なす。 <b>【進級・卒業要件】</b> ●所定の授業科目の履修を修了した者に、年度末に進級・卒業判定会議を実施し、学生の成績評価、単位取得状況に基づき判定する。	1学年の学期区分	3期
	1学期の授業期間	第一学期 18週 第二学期 22週 第三学期 10週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。
- 担当教員が当該授業科目に関して実務経験がある場合◎を付す。（省令で定める基準授業時数80時間）